

ラグビー オール鹿児島高校選抜



ラグビーのオール鹿児島高校選抜チームが、3月28から31日の間、パースを訪れた。パース市と鹿児島市が姉妹都市ということもあり、今回このような遠征が実現した。遠征に参加した選抜メンバーたちは、本場のラグビーを体験することで、何を感じ、何をすることができたのだろうか。



ラグビー・オール鹿児島高校選抜

鹿児島県内のラグビー強豪8校から3回のセレクションを潜り抜けてきた新3年生19人と新2年生6人の計25人の選手で構成される。今回のパース遠征後は、4月19日の宮崎県選抜との招待試合を行い、そして2008年おおいの国体（国民体育大会）に出場するため、8月16日から19日に行われる国民体育大会九州ブロック大会で出場2枠の1つに入ることを目指す。監督は県立鹿児島東高等学校体育教員兼ラグビー部監督の神薊篤。



取材協力：西オーストラリア州政府観光局

スーパー14とは

南半球最高峰のラグビーのクラブマッチ大会。世界ランキング上位のオーストラリア、ニュージーランド、南アフリカ3国の各地の14チームによって構成される。総当たり戦で各チーム13試合行い、上位4チームが決勝シリーズに進出する。

ウェスタンフォースとは

2006年にスーパー12がスーパー14に変わった際に、新規加入チームしたプロ・ラグビーチーム。豪州代表の注目選手も所属しており、地元パースを本拠地として、大会中はSubiaco Ovalでホームゲームを行っている。

